

MEIKAI

vol. 19
Dec. 2013

UNIVERSITY
URAYASU CAMPUS
ALUMNI ASSOCIATION

Special Feature

明海コネクションの 構築



同窓会 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/Meikai.dosokai>



明海大学浦安キャンパス同窓会報



明海コネクションの構築

同窓生の“つながり”が新たな未来を生む
—ビジネス交流会の開催に向けて

2013年10月18日、《ビジネス交流会 vol.10》と題し、1期から一昨年卒業の20期生まで、明海大学のOB・OGたちが集結した。集まったのは、広告・不動産・金融・ファッション・デザイン業界等、幅広い分野で活躍する卒業生13名だ。

本会は、2014年3月に全同窓生に向けて開催される《ビジネス交流会 vol.11》立ち上げのためのイベントとして開催された。

会の冒頭、同窓会会長である北原淳氏から、まず交流会の趣旨が語られた。

「この《ビジネス交流会》は、卒業後、多様な業種で働き、様々なスタイルで生きる同窓生たちが、OB・OG同士のコネクションによって問題解決や、相談ができる場にしていきたいと考えています。」

また、そこから、例えば広告業界・教育関係・公務員、あるいは働くお母さん同士など、細分化した“つながり”をつくらうというのが、主な目的です。」

続く各出席者の自己紹介では、北原会長から小気味の良い合いの手も入り、初対面の参加者同士もほぐれたムードで会は進行了した。

都合により掲載を見合わせています



菅 英明
(かん・ひであき)
WEB デザイナー
第6期卒業生
経済学科

「明海大らしい『オープンなつながり』」
一方、社会人としてフリーランスという選択肢もある。
ウェブデザイナーである第6期生の菅英明さんがその一人だ。もともとシステムエンジニアとして企業に勤めていたが、フリーのウェブデザイナーへ転身。本交流会を知り、「サラリーマン時代にはできなかったことをやろう」と参加を決めた。
時間に縛られず、ノートPCなどがあればどこでも仕事ができるという新しい働き方を選択した菅さん。地元・葛飾区で「コワーキングスペース」と呼ばれる、多業種のフリーランサーなどが同空間で各々の仕事を行う、オープンな共用事務所スペースを活用している。そしてそこから生まれたつながりにより、地元商店会や音楽祭のサイトなどを制作。まさに地元密着というべき『つながり』の中で仕事をしている。

「結局、早慶上智は何が強いかというと、自分が希望する業種で働くOBたちから生の声が聞けるからなんです。それで、明海生よりも明確な志望動機を言うことができる。現役の学生たちには、例えばインターンシップよりもっと仕事のコアな部分に触れられるような機会を、会のメンバーの方たちと一緒に作ることでできればいいですね。」

大学のコネクションも活かして、仕事の幅を広げていきたいですね。
明海大の特徴を「囲いの無いキャンパスが表すように、オープンなところ」と言う菅氏。「同じ業界はもちろん、ITとは縁遠い異業種の人たちとも交流を持ちたい。そして、個人で働く人とも交流をはかり、一緒に仕事ができれば嬉しい。かつてシステムエンジニアとして活動してきた経験も活かして、何か役に立てればと思います」と、オープンなビジョンを語った。
「色々な仕事を知るチャンス」
広告業界からの参加は、現在、読売エージェンシーで働く2011年卒業生、今回の参加者中でも若手の古川深之佑さん。
古川さんは学生時代、就職活動をする中で、広告業界からレコード会社という希望を持っており、その業界で働くOBやOGのツテを辿った。しかし当時は明海大の卒業生がその業界に多くなく、OB訪問などの実現には至らなかった。そうした経緯もあり、『ビジネス交流会』で出会った、様々な業界で働く人とともに、学生たちに「こういう仕事もある」「こんな面白い業界もある」ということを「知ってもらえる機会」を積極的につくっていききたいと言う。



古川 深之佑
(ふるかわ・しんのすけ)
読売エージェンシー
第20期卒業生
経済学科

「明海大学の価値を高める」
本会の目的は、約3万人を数える明海大学卒業生のつながりを『明海コネクション』と位置づけ、その輪から派生する「知識と技術の共有」が、新たな仕事を創出し、成功事例を生み出す。同窓生同士がこのアクションを起こすことで「卒業後も繋がる大学」「就職に強い大学」として母校の評価を高め、現役生や新入生にも還元する狙いがある。実際に学生の就職支援として『明海コネクション』の中の「インターンシップ」や「OB訪問」の機会を積極的に作り、実際の雇用に結びつけていくことも目指す。
同窓会は2017年に発足25周年を迎える。この節目に向け、母校の価値向上を図る『ビジョン2017』という大きな目標

■『ビジネス交流会 vol.1—明海コネクションの構築—』
(全同窓生対象・2014年3月開催予定)

約3万人に及ぶ同窓生の輪を、『明海コネクション』という「共有財産」として再確認。次のような発展を目指します。

- ・人のつながりによって派生する「有益な知識・技術の共有」
- ・ある成功事例を学ぶことで、次の成功事例へとつなげていく、成功の連鎖
- ・就職支援としてのインターンシップ・OB訪問等の積極的実施～雇用機会の創出
- ・「卒業後もつながる大学」「就職に強い大学」としての評価の確立

詳細・最新情報はこちらから
明海大学浦安キャンパス ビジネス交流会 公式 Facebook
<https://www.facebook.com/Meikai.dosokai.Business>



を見据えている。これは、卒業生が一丸となつて母校のブランディングに参加し、明海大学の良さを自らが自信を持って自分の子供や知人等に伝え勧めていくことを目指す動きであり、来年3月に開催される『ビジネス交流会 vol.1』はまさにその第一歩となる。
明海大に誇りを持ち、明海大の輪を広げ、それが社会に出てからも役立つ貴重なネットワークとなれば、明海大学の社会的なブランド価値は向上する。
有機的な人のつながりの中で、仕事の創出、母校の向上を目指す本会。ご自身のため、そして後輩たちのため、ぜひとも多くの同窓生に参加していただきたい。

* = CGなどを建物・物体・空間に直接投影する3次元の表現手法。注目の技法としてアート・広告・イベント等で活用されている



学園祭で盛り上がりを見せた11月2日、第22回目となる明海大学浦安キャンパス同窓会パーティーが開催され、約300名の同窓生や教授、大学関係者が集まった。

パーティーの冒頭、安井利一学長から歓迎の挨拶があり、「巣立ったみなさん方の姿で、この大学の力量が見られております。今後とも母校をしっかりと見守っていただき、建設的なご意見をいただければと思います」と、同窓生たちに親しみを込めたメッセージを送った。

次に、同窓会会長の北原淳氏が壇上に立ち、2017年には同窓会が発足25周年を迎えることに触れ、卒業生たちができる貢献として、「ビジョン2017」という目標を掲げたことを発表。また、来年3月に行われるビジネス交流会への参加を促した。

乾杯の挨拶は、大学事務局長の地下和弘氏が行い、「同窓生と明海大学のさらなる発展を祈念して乾杯!」の声で、それぞれ手に持ったグラスを交わし合った。

続いて、体育会会長の近江彰氏から挨拶があり、今年、第39回全国空手道選手権大会全日本で3位に入った空手道部の功績を伝えた。

参加した塩田長英元経済学部教授は、「懐かしい面々が会場で私を見つけ、話しかけてくれるのが嬉しい」と語った。

最後に、参加者たちが一同揃っての記念写真を撮影し終えると大きな拍手がおこり、惜しまれながらパーティーは終了。皆、懐かしい再会に心を和ませ、また1年後の再会を約束し合う光景が見られた。

■参加者

- 【学長】安井利一
- 【副学長】西山佑司
- 【教授】遊佐昇・柳澤好昭・津留崎毅
山下暁美・下田直樹・渡辺真知子
斎藤千尋・林亜夫・宮田淳
- 【准教授】萩原稚佳子・中川仁
宮崎礼二・中井延美
- 【講師】高山太輔・田中茉莉子
- 【特任教授】桑田良望
- 【総合教員センター】徳田恵
- 【名誉教授】小泉充國・塩田長英
- 職員
- 【事務局長】地下和弘
- 【事務部長】中山浩之
- 【事務次長】近江彰

Contents 02

Alumni Meeting

Message

恩師からのたより

卒業してからも我々明海大学を
もっと利用してください！



不動産学部教授
林 亜夫

若干悲しくなるところですが、やはり教え方が悪いものと自覚し毎年授業方法の改善に努めてきたところです。

先日、ある卒業生がぜひ聞きたいことがあると連絡があり、研究室に訪ねてきました。彼は某住宅建設会社に就職したのですが、社長から今度事業展開する東京のある地

卒業生の皆様、お元気でご活躍のことと存じます。お仕事や生活、厳しい状況にある方も多いかもしれませんが、アベノミクスの良い効果が皆様方に広く行きわたることを期待しています。

さて、私は明海大学に1995年に着任し、今年現在で19年目を迎えています。そして来年3月には定年退職になります。就任前（非常勤として）後、しばらくは学部に関係なく情報処理関係の授業を担当していました。情報処理教育の現場は学生との距離が比較的近いので、私のことを覚えていてくれる卒業生は多いようです。学園祭のときの同窓会で、他学部の卒業生からもコンピュータの授業、勉強を話題として声をかけてくれることが多々あり、うれしい限りです。これはパソコンなどの情報機器は卒業後どの分野でお仕事されていても利用するので、大学においてこの分野の体験や知識が残りやすいのかもしれない。

一方、不動産学部では不動産ビジネスに
関係する統計や数理を教えてきたのですが、卒業生との会話では、これら授業に関してほとんど話題にならないばかりか、「あれ、先生が教えていたんでしたっけ!?」、あるいは「あれは難しかった!」との本音
がもれることが少なからずあるようです。

域で、1年間にどれくらいの数の中古住宅
が売りに出るか、市場予測をするように指
示されたとのことです。しかし本にもイン
ターネットにもそのような情報はないの
で、彼は自分で考えたそうです。その結果、
持ち家が売りに出る要因：所有者の死亡、
離婚、移転等の発生した場合その家が売
りに出る比率（確率）が分かればよく、それ
らを既存のデータからどう予測（推定）す
ればよいかということ聞きにきたので
す。聞いてみると既存のデータからのよ
うに積上げ推定していくか、一部不明解の
ところがあがりながら、論理的には良く練ら
れた水準にあり感心しました。本人いわく
自分は算数、数学は苦手だったとのこと、
私の授業が無意識にでも役に立っているの
かなと期待したところです。

彼が持ち込んだ課題は「フェルミ推定」
といわれる、予測のつかないことを既存の
データから大胆に予測する方法論で、最近、
企業研修や大学院の入学試験などに採用さ
れています。私にとっても彼の課題がいい
勉強になり、おかげさまで数学と統計の授
業、そして卒業演習のネタとして利用させ
てもらっています。

卒業後も我々明海大学をどうぞご利用し
てください。我我のためにも！

Report

会計報告

セキュリティの関係上、ホームページ上には公開致しません。

Contents 05

Report

明海祭団体表彰

雨がばらつく最終日に行われたファイナルパーティの最後に、同窓会による学園祭参加団体表彰式が行われた。



今年の最優秀賞には、千利休の“わびさび”に象徴される静かで趣のある空間と、豊臣秀吉がしつらえた黄金の茶室のような華やかな空間という、茶道の持つ2つの世界観を表現した茶道部が選ばれた。ホスピタリティ・ツーリズム学部4年の部員、三村真美さんは、「最近では、学部のゼミを対象にお茶を点てるといふ、おもてなしの活動もしています。毎年、学園祭に向けて部が一丸となるので、今回の受賞は、大変嬉しいです」と喜びのコメント。

また、優秀賞は、各メンバーが生けた花と、サークル全員による高さ180cmのダイナミックな作品を披露した小原流生け花サークル。経済学科4年の前部長、



鈴木紘花さんは、「1年生から活動をして、今年初めて賞をいただけたのが嬉しい」と語った。

今年は同窓会賞の該当はなかった。最後に同窓会理事の伊藤大典氏が「今回受賞出来なかった団体も、次回をめざしてがんばって欲しい」と締めくくった。

Contents 07

Topics

コミュニティサポート事業

【明海大OBウィナーズ(ソフトボール)】

2013/4/14～6/23 ■浦安市今川球技場

昨年の浦安市秋季市民大会で二部準優勝となり、本年の春季大会は一部での試合となりました。初戦は4/14対高洲イーグルス戦。昨年の春・秋連覇の強豪との対戦でしたが、3回までは先発・南晋作の踏ん張りもあり、投手戦で緊迫した展開に。

しかし、後半は地力の差が出はじめ、6回0対7のコールド負けでした。

6/2、第2戦の敗者復活トーナメントへ。対ジェントルマン戦は初回到6点を奪い、6対2で勝利。しかし、勝ったことでダブルヘッダーとなった美浜ビーチボーイズ戦では、連投の南に疲れが見え、綾部修に継投するも0対12でコールド負け。一部リーグは残留となったため、秋季大会での雪辱を期します。(20名参加)



創部25周年を迎えた今年の目標は「千葉県大学サッカーリーグ奪還」。さらに創部以来の悲願である「関東大学サッカーリーグ2部昇格」であった。昨年のリーグ戦敗退を機に、チームの型となるコンセプトを見直しては再構築する、これを徹底して繰り返してトレーニングを重ねた。結果、千葉県大学サッカーリーグは2試合を残して奪還し、関東大学サッカー大会を迎えた。

予選リーグ初戦は尚美学園大学(埼玉)に4-1。第2節は上武大学(北関東)に1-0。第3節は山梨学院大学(東京)に3-0と、3戦全勝でAブロック1位通過。迎えた昇格決定戦では、Bブロック2位

の産業能率大学と対戦し、2-2の同点で90分間を終了。延長でも決着が決まらず、PK戦までもつれこんだ結果、ここで3-4で敗れ、悲願達成はならなかった。

会場まで応援に来てくださったOBや大学関係者の皆さんにはこの場をお借りして御礼を申し上げます。来年こそは宿願の関東大学サッカーリーグ2部昇格を果たしたい。(監督 八津川義廣)

Contents 06

Club

サッカー部

Contents 08

Report

2013年度代議員会

5月18日(土)、2013年度同窓会代議員会が開催され、代議員40名と教職員14名が出席した。

同窓会の北原淳会長と安井利一学長か

ら挨拶。各種事業報告や、新役員を選出、新年度予算案などが審議承認された。

また、北原会長から同窓会発足25周年に向けた中期計画「ビジョン2017」についての説明があった。これは、25周年を迎える2017年までの中期的ビジョンの総称で、母校・明海大学を「自分の子供たちを入学させたい」「知人に薦めたい」、そのような大学にしていきたい

という、同窓生共通の願いの実現に向けた、積極的な事業展開を指す。まさに今後の同窓会の軸となる考え方である。



Contents 11

Topics

コミュニティサポート事業

【明海大学陸上競技部 OB・OG 会】

2013/7/14 ■マイステイズ新浦安

OB・OG 会第 4 回総会を行い、昨年度収支決算報告と次年度予算案の承認決議、さらに現役生への支援や本会の参加者増員について話し合いました。

現在、陸上競技部が体育連盟の所属になっているという話があり、こういう時こそ OB・OG 会として出来る様々な支援をしていきたいと感じました。また一方では、部員から代表選手が選ばれたという嬉しいニュースも。懇親会には現役生から翌日試合を控えた OB まで参加し、世代を超え皆が楽しめた会となりました。(13 名参加)



Contents 12

Club

ヨット部

全日インカレ スナイプ級全国制覇

関東学生女子ヨット選手権春季大会の総合第 4 位を皮切りに、関東大学ヨット選手権総合 5 位で秋のシード権を獲得。秋季大会では、470 級の波田地由佳(経済学科 4 年)・澤田しおり(英米語学科 4 年)組が優勝、さらに 3 位・4 位と上位を独占。スナイプ級でも 2 位・4 位と入賞を果たし、部史上初の総合優勝という快挙を達成。続く第 22 回全日本学生女子ヨット選手権大会においても、スナイプ級 2 位入賞など好調を維持し、早稲田大学を破っての総合 3 位。川戸志織(経済学科 4 年)選手は女子最優秀選手にも選ばれた。また女子は、8 月の全日本スナイプ級女子選手権大会でも 3 位入賞を果たした。

空手道部は、同窓会の皆様をはじめ、教育後援会及び大学のご支援のおかげで体育会に所属し、6 年目を迎えることとなりました。

本年度は「2013 年飛躍の年」をテーマに、大塚純也主将(経済学科 4 年)を中心とし、1 つでも上を目指し部員一同、精神面・技術面等の強化を図り日夜稽古に励んで来ました。今年度の成績としては、第 57 回全日本学生空手道個人選手権大会男子組手競技において、遠山大輔(経済学科 2 年)が 3 位入賞、第 56 回東



日本大学選手権大会男子団体組手競技で 3 位入賞する等、個人戦、団体戦共に本学空手道部初となる好成績を挙げ、全国の歴史ある強豪大学と対等に勝負することの出来るチームになってきました。また、今年度最後となる第 57 回全日本大学空手道選手権大会では、組手団体戦に出場、男女共に準々決勝(ベスト 8)に進出しました。

次年度に向け新チームとなり、より一層チーム力の向上と精神面・技術面等を強化し、今まで以上に良い成績を残せるよう精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。(監督 上妻優介)

Contents 09

Club

空手道部

Contents 10

Topics

コミュニティサポート事業

【マーリンズ OG 会 (チアリーディング)】

2013/5/12 ■ビッグシェフ新浦安店

今回でマーリンズ OG 会が解散の為、会計や今後の事などを確認しました。

事務的な話の後は、現役の頃の思い出話や、子育て・仕事の話など、お互いの近況も聞け、とても有意義な時間となりました。

メンバーは卒業後も何らかの形でチアに関っており、チアに対する気持ち、そしてマーリンズの絆を、改めて確認できた会でした。支援していただきありがとうございました。OG 会ではないですが、また来年みんなで集まる日を楽しみにしています。GO MARLINS!! (15 名参加)



第 78 回全日本学生ヨット選手権大会は記念すべき大会となった。予選では 16 大学 496 艇が凌ぎを削る中、伊東雄基(経済学科 4 年)主将を中心にチーム一丸となり 470 級 4 位・スナイプ級 2 位、関東 3 位で出場権を獲得。兵庫県西宮での本戦に臨んだ。現地入りしたチームは、伝統校・常勝校との僅かな事前練習の中で手応えを感じたのか、明るい雰囲気初戦を迎えた。予選からの勢いに加え、緻密なレース展開を積み重ねた結果、スナイプ級優勝・470 級 4 位、全国総合第 2 位という輝かしい成果を挙げた。不断の努力は全国制覇も可能にするという

こと、これを僅か 3 年半で具現化した事は明海大学にとって大きな力となる。ご支援をいただいた大学及び同窓会・教育後援会、関係者のお力添えの賜物と、感謝に堪えない。(監督 国府田由隆)



Contents 13

Topics

外国語学部

グローバル・スタディーズ専攻 (GSM) 誕生

グローバル社会の進展とともに、企業活動はもちろんのこと、あらゆる分野の社会経済活動において、諸外国との関わりは避けては通ることのできない時代に突入した。そこで、明海大学外国語学部では時代の要請に応じ、2014年4月から、カリキュラムを再構築し、グローバル・

Contents 14

Report

夢プロジェクト審査会

明海祭初日の11/2、学生の挑戦を実現する資金として上限100万円を援助する「夢プロジェクト」の審査会が行われた。今回挑戦したのは「情報処理研究部」金子嘉伸さん（不動産学科4年）と、「まんが研究会」宮應誠さん（経済学科3年）。互いの得意分野を活かしての共同提案は、明海大学の“ゆるキャラ”を設定し、webやイベント等で大学をPRしていくというプラン。

「大学のイメージをどう統一するか」という点には、「同窓会がチェック機能を果たす」と、北原会長らが積極的なバックアップを表明した。



スタディーズ専攻（以下GSM）を新たに開設する。

GSMでは、高度な外国語運用能力に加え、諸外国・地域の文化・社会・経済・ビジネス等の幅広い教養と、ビジネスの専門知識を備えた、現代社会が求めるグローバルな人材を育成する。

■ GSMの特徴

- ①英語 + 中国語（留学生は日本語）の2言語学修により、グローバル・コミュニケーターとしての素養を身につける。
- ②所属学科の専門科目に加え、グローバル・スタディーズ関連科目を興味・関心、将来の進路に応じ学部内で横断的に学ぶことで、幅広い国際教養を身につける。
- ③地域研究では、日本と関係の深い諸外

今年度から特別強化団体として加わることができ光栄なことと期待を背負う不安もあります。

4月からたちかわジュニアテニスアカデミーヘッドコーチ土屋哲史氏（最高JOPランキング11位）を監督として迎え、新体制としてスタートしました。技術、体力、メンタル面の強化を行い、この半年間での成長は著しく変わりました。5月、7月の個人戦においては、昨年度以上の成績を収め、「関東学生」という資格を獲得するまで、あと一歩のところまで進むことができました。

9月のリーグ戦では、予選ブロックリーグにおいて、帝京大学、武蔵大学に勝利し全勝で決勝トーナメントに進出しました。しかし、トーナメント準決勝で東京女子体育大学に接戦で敗れ、5部3位となり入替戦に出場できず残留となり悔しい想いとなりました。部員数が5名のなか、誰一人怪我する事なく、最後までチームで戦えたことは、素晴らしい事だと思います。

国・地域の文化・社会・経済・ビジネス等を幅広く学び、国際社会で起きる出来事をリアルタイムに理解する知識を身につける。

④海外留学、海外研修、インターンシップ、ボランティアのいずれか一つを必須とし、グローバル社会で生き抜く術を実体験から身につける。

⑤4年一貫少人数制必修ゼミを導入。双方向型のアクティブな授業展開から、進路に至るまでのきめ細やかな後見を行う。

⑥学びの興味や関心、将来の進路目標に応じ専攻等の変更が可能。

グローバル社会に必要な国際性・国際感覚を身につけた人材が求められる中、GSMに高い期待と注目が集まる。

Contents 15

Club

女子硬式庭球部

今後も文武両道に取組み、学生の模範となり大学を発展させていくことを目標に指導し、来年こそ4部昇格できるように精進してきたいと思います。今後とも、応援のほど、よろしくお願いいたします。

（コーチ 小泉順一）



Information— 参加者・アイデア募集しています !!

① 事業サポーター

自分の仕事やスキルを活かし、同窓会や大学の活動に協力していただける方を募集しています。年数回のミーティングに出席いただき、ご意見をディスカッションしていただきます。

② 「何かひとつ」～大学の為にできること～

「自分の等身大の力で大学の為に出来ること」を教えてください。良い企画ならば、本会で予算を捻出し、実現に向けて動きます。

いずれも、同窓会事務局アドレス (info@meikai.com) に、氏名・出身学科・電話番号・住所・ご職業を明記してご連絡ください。

*②はアイデアも添えて。

